

第57回洗淨に関するシンポジウム

主催 日本油化学会 洗淨・洗剤部会

日時 2025年11月17日（月）～18日（火）

会場 大阪科学技術センター 8階大ホール〔〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4〕
Osaka Metro 四つ橋線本町駅下車⑧号出口より北へ徒歩5分 (<https://ostec.or.jp/ostec-room/access>)

プログラム概要

特集講演「洗濯の今を知る」、一般講演、及びオリジナルレポート

参加費

	事前振込	当日
洗淨・洗剤部会員（不課税）	9,000円	10,000円
本会正会員*1（不課税）	10,000円	11,000円
本会法人会員*1（不課税）	12,000円	13,000円
Co-メンバー*2（課税・税込）	12,000円	13,000円
協賛学会員（課税・税込）	12,000円	14,000円
会員外一般（課税・税込）	15,000円	18,000円
本会学生会員*1（不課税）	4,000円	5,000円
会員外学生（課税・税込）	5,000円	6,000円

*1 日本油化学会 *2 Co-メンバー登録費用(1,000円)を含む

「Co-メンバー」のご案内

洗淨・洗剤部会では学会活動活性化の一環として「Co-メンバー」制を導入しています。シンポジウムお申込の際に「Co-メンバー」を選択頂くだけで登録が完了します。
また、Co-メンバーは本シンポジウムや当部会開催セミナー参加費の割引が適用されます。ぜひこの機会に入会をご検討ください。
なお、Co-メンバー資格は次回シンポジウムまでの1年間となります。自動的に翌年度の資格が更新されることはありませんので、資格の継続をご希望される場合、次回のシンポジウム申込時に、改めてお申込みください。

懇親会 2025年11月17日（月）18時30分より 7階レストラン
会費： 一般5,000円、 学生1,000円

参加申込〆切 2025年11月7日（金）

参加申込方法 下記ホームページの申し込みフォームへアクセス頂き、お申し込み手続きをお願い致します。

★★★[第57回洗淨に関するシンポジウム申込み - 日本油化学会 洗淨・洗剤部会](https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/%e5%8f%82%e5%8a%a0%e7%94%b3%e8%be%bc%e3%83%95%e3%82%a9%e3%83%bc%e3%83%a0/)★★★

<https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/%e5%8f%82%e5%8a%a0%e7%94%b3%e8%be%bc%e3%83%95%e3%82%a9%e3%83%bc%e3%83%a0/>
*上記申し込みフォームでの申し込みが難しい場合には、下記問合せ先までご連絡ください。

振込〆切 2025年11月7日（金）

振込方法 参加費は申し込み締切日まで【入金の確認が行えるよう】に銀行振込にて前納して下さい。

当方にて振込が確認できなかった場合、振込用紙を提示していただく場合がございます。
なお納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込： 三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金口座 7697594
口座名義 日本油化学会 洗淨洗剤部会 (ニホユカガカイ センジヨウケン イブカイ)
*カタカナでの振込先入力が必要な際にはご注意ください。

問合せ先 日本油化学会 洗淨・洗剤部会 事務局
ライオン（株）ファブリックケア研究所 大塚 聡（おおつか さとし）
〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1 E-mail: senjou-senzai@jocs.jp

【プログラム】

■ 1日目 11月17日(月)

10:20～10:50 開会の辞／最新洗濯技術研究動向

洗濯・洗剤部会長（共立女子大）後藤純子 氏

<一般講演>

10:50～11:20 アメリカ油化学会(AOCS)主催 Fabric & Home Care Forum 参加報告

(グローバルビジネスコンサルタント、元花王) 妻鳥正樹 氏

AOCS 主催 Fabric & Home Care Forum がコロナ禍の影響で中断されていたが、7年ぶりに本年4月28日～30日、米国オレゴン州 ポートランドで開催された。本発表では業界リーダーの講演内容を紹介する。

—昼食休憩 11:20～12:40 (1時間20分)—

<特集講演：洗濯の今を知る>

12:40～13:30 家庭洗濯実態に関する2025年調査報告

(日本石鹼洗剤工業会) 野村昌史 氏

日本石鹼洗剤工業会が5年ごとに実施する洗濯に関する意識・行動調査を基に、近年の社会・生活環境の変化が洗濯行動に及ぼす影響や、洗剤・柔軟仕上げ剤の自動投入機能を搭載した洗濯機の使用実態などを紹介する。

13:30～14:05 家庭用電気洗濯機の技術動向および最新電気洗濯機のご紹介

(日本電機工業会) 斎藤祥典 氏

電気洗濯機のトレンド、洗濯機の商品構成・出荷推移及び JEMA 電気洗濯機技術専門委員会での取組み状況、日本の社会環境・生活環境・ライフスタイルに伴う洗濯機の開発動向や高機能家電への進化と合わせ各社最新の技術取組みを紹介する。

14:05～14:40 最近の衣料用洗剤・仕上げ剤の動向

(日本石鹼洗剤工業会) 森圭輔 氏

短時間であっても衣類を使用すると、必ず様々な汚れが付着する。洗濯はそれらを取り除くことで、衣類の美しさを保つだけでなく、吸水性や通気性などの衣類の機能を元の状態に戻す手段として古くから行われてきた。それに加え、近年では衣料用洗剤および仕上げ剤の分野において、環境負荷を低減するための技術開発が進行している。そこで、本講演では、その中で、「すすぎ回数の削減」「衣類ケア」「包装容器プラスチックの削減」の3つに焦点を当て、これらの技術的進展を紹介する。

—休憩 14:40～14:50 (10分)—

14:50～15:30 商業洗濯の現状

(全国クリーニング生活衛生同業組合連合会) 小野雅啓 氏

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会、生活衛生関係営業、クリーニング業法を紹介する。また、クリーニング施設数と年間洗濯代の推移、ドライクリーニング、ウェットクリーニング、ランドリーの概況を説明する。

15:30～16:10 大型コインランドリーの歴史～最新トレンド

(TOSEI) 塚本広二 氏

1980年代から始まった10kg以上の洗濯機・乾燥機を複数台設置した大型コインランドリーの歴史や機器・キャッシュレス化への変遷などを講演する。

—休憩 16:10～16:25 (15分)—

16:25～18:15 ポスターセッション /7階 700号室

18:15～ 懇親会 /7階レストラン

■ 2日目 11月18日(火)

<一般講演>

10:10~11:10 国内外 PFAS 規制の最新動向

(みずほリサーチ&テクノロジーズ) 後藤嘉孝 氏

近年、欧米を中心に進展する PFAS 規制は、製品設計から化学品管理、調達・販売戦略に至るまで、いまやあらゆる業種へ影響を及ぼしつつある。講演では、欧米 PFAS 規制の最新動向と着地点を解説する。

11:10~11:50 界面活性剤による衣類内部に形成されたバイオフィルムの殺菌・除去技術

(花王) 佐伯詩歩 氏

微生物の大半は、菌体および細胞外多糖に覆われたバイオフィルムの状態で衣類内部に残留している。本研究では、界面活性剤の一定の組み合わせが、特異的にバイオフィルムの殺菌・除去に有効であることを見出した。

—昼食休憩 11:50~13:00 (1時間10分)—

<オリジナルレポート>

13:00~13:20 マグネチックスターラーを用いた小スケール洗浄試験の適正条件

(横浜国立大) 大矢勝

13:20~13:40 洗濯のすすぎ水への各種ファインバブル水の適用

(大阪産業大*1、奈良女子大*2) ○田川由美子*1、後藤景子*2

13:40~14:00 アルカリ性電解水による汚染布の洗浄率に対するウルトラファインバブル混合の効果

(新潟大) ○牛田晃臣、藤田知良、小浦方格

—休憩 14:00~14:10 (10分)—

14:10~14:30 濃縮洗剤向けの新しいソイルリリースポリマー

(クラリアントジャパン) 飯間雄介

14:30~14:50 黄ばみ・生乾き臭と DNA の関係について

(ライオン) ○土居青太、森圭輔、大塚聡、小倉英史

14:50~15:10 ATR-FT/IR 法を用いた過炭酸ナトリウム添加による汚れ成分の除去効果

(東京家政大) ○葛原亜起夫、野原彩乃、山田美芳、井坂歩美

—休憩 15:10~15:20 (10分)—

15:20~15:40 Pristine® Advance 次世代のフレッシュネスを実現する新酵素

(ノボザイムズジャパン) 鈴木陽一

15:40~16:00 食器用洗剤における酵素の有効活用の可能性探索~酵素性能向上因子の特定~

(ライオン) ○阿部滉平、瀬尾真大、渡邊洋介、神藤宏明、小倉弘嗣

16:00~16:20 硬水成分が毛髪のねじり物性におよぼす影響

(和洋女子大) ○桑原里美、村上晴香、上甲恭平

16:20~16:25 閉会の辞

洗浄・洗剤部会 副部会長 (東京家政学院大) 佐々木麻紀子 氏

<ポスターセッション> 1日目 11月17日(月) 16:25~18:15 自由討論形式 /7階 700号室

1. 自動食洗機洗剤向け金属触媒 WeylClean® MnTACN
(アゼリスジャパン) 流石健作
2. ファブリックケアの新たな次元：ポリエステラーゼ
(ダニスコジャパン) ○樫村猛伯、中村亜紀子
3. ドライクリーニング染色堅ろう度の洗液汚染評価方法
(繊維製品技術研究会) 山下昌二
4. 温度変化に対するウルトラファインバブルの高安定性
(新潟大) ○堀内領馬、牛田晃臣
5. 濃縮洗剤処方における各種ソイルリリースポリマーの比較検証
(クラリアントジャパン) 飯間雄介
6. ターゴトメーターを用いた再汚染防止力評価方法の検討
(共立女子大) 内田侑里、鈴木千遥、後藤純子
7. 西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼを用いたオレイン酸汚染布の洗浄性に及ぼす活性化剤の影響
(宮崎大*1、元宮崎大*2、東京学芸大*3) ○藤本明弘*1、松本愛乃*2、森田みゆき*3
8. 高い性能が発揮できる環境負荷の低い高分子分散剤
(ダウ・ケミカル日本) ビスワスシュヴェンドウ